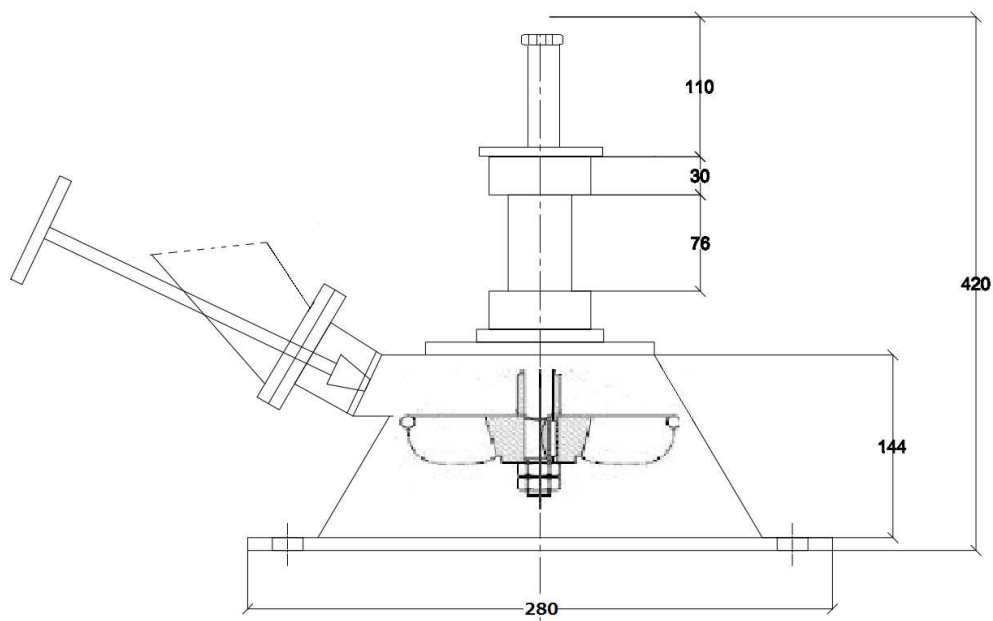


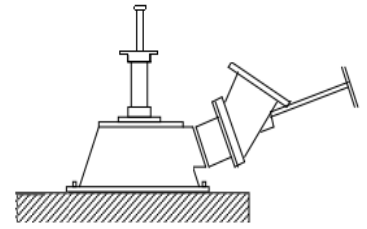
DIY, BLUE TURGO Turbine Kit

2nd Generation (update Aug 2016)



1. キットの基本説明

ユーザー側での予想必要工作事項は：①発電機を回転軸に取り付ける技術的開発作業、②導水管工事（三方弁、圧力計、止水弁等の送水、排水、停止等の水回り手配が必要）です。本体に付随するノズル調整機構は極限定された水量変化にしか役立ちませんので、水量の変化には各作業による止水弁で対応が必要です。



このキットは鋳造製品で、通常の工業生産における、仕上げ加工は行っていません。組合せ精度、仕上精度などの精密な加工は施されていません。あくまで、ご自分でマイクロ水力を開発される方が、簡易的に、発電機を回転し、実験される為に、提供しています。

最後のページに記しますように、送水管周りのゴムシールは実際水を送水し、その漏れを止める為にはご自分で、ゴムシールを工夫する必要があります。水漏れの程度は対象とされる高低差と水量で可変しますので、その対策はユーザー側となります。ノズル調整機構の水漏れ対策も重要です。

本キットはターゴタービンです。従って、全ての高低差や水量に対応する訳ではありません。目安としての、落差、水量は以下の表に示します。ご利用に関しては、全てご自分で計画され、組み立て、調整、等を行って頂きます。販売品は、このマニュアルの表紙の写真に準じています。標準付属品は、タービン上部のベアリングにほめ込む水侵入防止リング 1 個のみです。大切に保管下さい

タービン性能は：

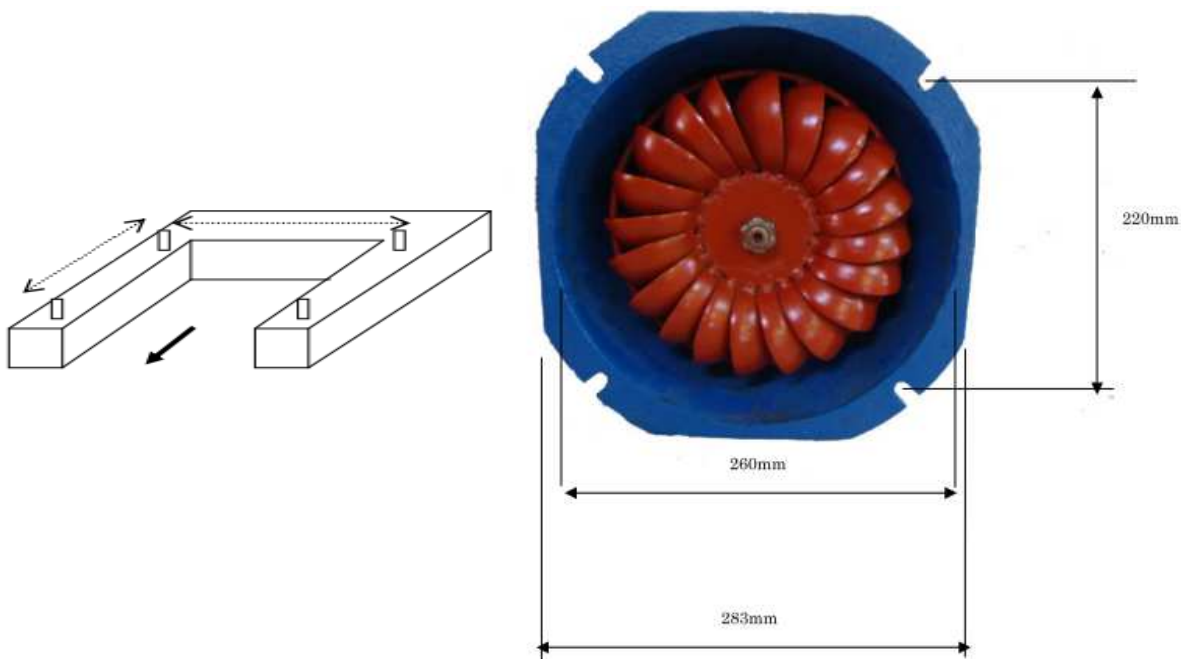
落差 (m)	5	6	7	8	9	10	11
流量 (ℓ・秒)	6.3	6.4	7.4	7.9	8.4	8.9	9.1
理論的発電量 (w)	160	200	275	325	390	460	520

発電量は理論値であり、あくまで参考値です：効率が更に関わります。

実際の発電量は発電機の性能により大きく変化しますので、上記情報はタービン性能としてご理解ください。

2. 据え付け場所：排水溝

水が飛び跳ね、タービンに跳ね返らない深さが必要です。水量により異なりますが、水量の多い場合例として 20-30cm の深さをご用意ください。

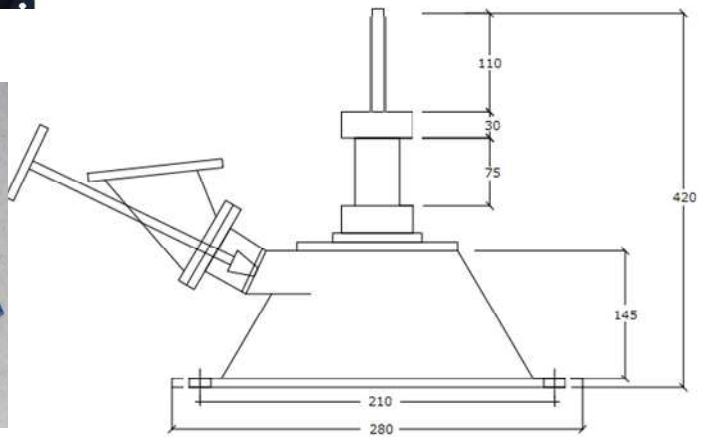


3. 外観案内

DIY Blue Turgo Turbine Kit 2nd Generation



本体重量 10.8kg



ノズル操作部 3.2kg
本体取り付け部品 1.4kg
導水管アダプター 0.8kg

総計 5.4kg



参考情報；

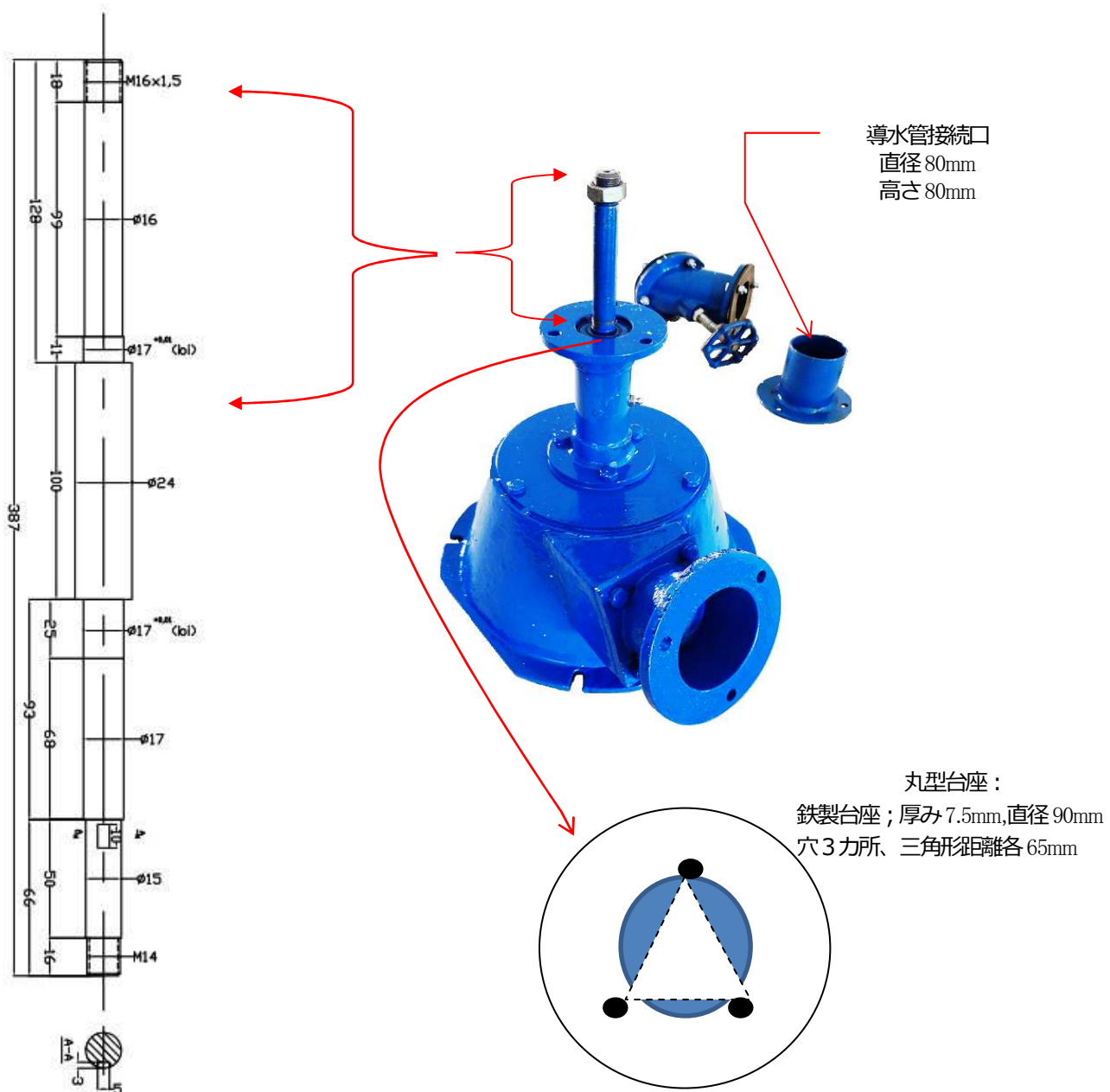
軸に埋め込まれているベアリングは上下2個です：
2年後にはお取替え下さい。
グリス給油口は見えていますが、使用不能です。

6203zz x 2

水侵入防止リング



4. 発電機取り付け用参考図



5. ラバーシールの追加

標準付属品としてのラバーシールで水漏れの場合は、良質のラバーシールを追加してください。

